

(2)活動人口増戦略

次に、第2の戦略、地域の中でキラキラ輝く人を増やす「活動人口増戦略」においては、

①健康づくり・スポーツ振興として 協定を締結した民間企業と連携し、職域での健康づくりマイスターリー運動の普及に努めるとともに、スケートボード場の整備やビジョンよしだの大規模改修など、スポーツ環境の充実を図ります。 また、オリンピアンやトップアスリートによる「ゆめみらいスポーツ教室」を開催し、子どもたちに夢と希望を与え、スポーツへの意欲や技術力向上を図ります。



トップアスリートによるスポーツ教室
写真左はリオ五輪銅メダリストの奥原希望選手

②支え合いの地域福祉の推進として 経済的に恵まれない子どもなどへの支援のため、子ども食堂やフードバンク等に取り組み団体への助成金の拡充を図るほか、生理用品の配布やフードドライブに取り組みます。

③若者や女性の力を生かしたまちづくりとして 「燕ジョイ活動部」、「燕市役所まちあそび部」をはじめとする若者たちの主体的な活動をサポートし、全国に誇れる事例として発展させていきます。

また、仕事と子育てが両立できる職場環境づくりを進める企業を認定・助成する制度の拡充を図るなど、女性を含む多様な人材が活躍できる社会づくりに取り組みます。



主体的なまちづくり活動を実施する「燕市役所まちあそび部」の企画会議

(3)交流・応援（燕）人口増戦略

次に、第3の戦略、燕を訪れたい、応援したいと思う人を増やす「交流・応援（燕）人口増戦略」においては、

①観光の振興として 産業史料館を核とした教育・体験旅行の誘致を図るとともに、大津分水インフラツアーなど、新たな着地型観光を推進します。

また、道の駅国上では、新たな指定管理者の下、キャンプ場やフードコンテナなど新規客層を呼び込むためのリニューアルを行います。

②燕市のファンづくりとして 大津分水通水100周年を契機に、テレビ番組の誘致に加え、各種メディアやSNSなどでプロモーションを行うことにより、燕市の産業や歴史、文化などの魅力を市内外へ効果的・戦略的に発信していきます。

また、全天候型子ども遊戯施設を対象にクラウドファンディング型ふるさと納税を実施するなど、引き続き県内トップクラスのふるさと納税獲得を目指して取組の強化を図ります。

ガソリン・発電の誘致、小型風力発電導入実現可能性調査の実施などに取り組み、脱炭素社会に貢献してまいります。

(5)行財政改革

もちろん、行財政改革も大切です。3期目のスローガン「やるぞ！燕」の真価を発揮させ、オンライン申請、オンライン相談の充実、住民票等のコンビニ交付サービス開始などデジタル市役所を推進するとともに、「建物系公共施設保有量適正化計画」等に基づいた施設の統廃合や民間活力の導入、更には受益者負担の適正化にも取り組めます。

以上、既に令和4年度当初予算編成の中で方向性を打ち出している新規・拡充事業について申し述べてまいりましたが、さらに今年度、第3次総合計画やまちづくりマスタープラン、行政改革推進プランを策定するなかで、「未来につながる新たな地方創生」を推進する政策の進化を図ってまいります。

職員の意識改革と能力向上

先日、4期目のスタートにあたり、職員に訓示を行い、あらためて



仕事に取り組み基本姿勢について確認を求めました。それは、
①市民目線に立って解決すべき行政課題を発見し、独自施策を立案していく政策集団となること。
②前例にとらわれず大胆に発想し、織細に検討したうえで、コスト意識とスピード感を持つて行動すること。
③施策の必要性や目的、費用対効果などを議会及び市民の皆様に分かりやすく説明していく仕事スタイルを根付かせること。

の3つです。これまでも職員の意識改革や能力向上にさまざまな取組を進めてまいりましたが、人材育成や組織の活性化は不断の努力が肝要です。

引き続き国、県、民間との人事交流の推進や研修の充実に取り組みとともに、民間活力の導入や市民、NPOなどとのパートナーシップを確立しながら、私と職員が一丸となつて、大きな政府でもなく、小さな政府でもなく、小さいコストで大きな成果を上げる「賢い政府」を目指してまいります。

むすび

以上、4期目に優先的に取り組む2つの政策課題と組織運営の基本姿



勢について申し述べてまいりました。

今年は大津分水通水100周年。大津分水は100年間燕市を洪水から守り、市民生活の安定と産業の発展をもたらしてくれました。

この100年の安心は、先人たちの200年にわたる挑戦があったから生まれたものです。大津分水を建設した先人たちの情熱を受け継ぎ、ふるさと燕を次の100年へつなげていくことができれば、よう、「深化！進化！真価！輝く燕」を合言葉に、「日本一輝いているまち」を共に目指してまいります。

4年後、燕市は合併20周年を迎えます。20歳になった燕市が新たなリーダーのもとで、より一層の飛躍を遂げていくことを期待しつつ、私はその礎をつくるため、全力で4期目の市政運営に取り組んでまいります。

市議会議員の皆様、市民の皆様におかれましては、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。所信表明とさせていただきます。

ご清聴ありがとうございました。



先人たちの情熱を受け継ぎ、ふるさと燕を次の100年につなげていきます。



大河津分水路改修事業にともなう山地の堀削や新第二床固の建設の様子

(4)都市環境の整備

次に、第4の戦略、3つの人口増戦略を支える都市環境の整備においては、新浄水場や安全な道路網の整備と公共交通の充実を図るとともに、総合的な空き家対策とまちなか居住を推進します。

また、国道116号吉田バイパス、国道289号燕北バイパスの早期整備に向けて、国・県への働きかけを強化していきます。

さらに、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指すこととし、市公式ホームページを通じて「ゼロカーボンシティ」の宣言・公表を行うとともに、その実現に向けて大規模公園等へのスマートライティングの整備や館野最終処分場跡地へのメ